



2022年5月12日

各 位

会社名 株式会社バナーズ
 代表者 代表取締役 小林由佳
 (コード番号 3011 東証スタンダード)
 問合せ先 執行役員 大内 修
 電 話 (048)523-2018

通期業績予想（連結・個別）と実績値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2021年5月13日に公表しました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、以下のとおり、2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想（連結・個別）と実績値との差異

(1) 2022年3月期通期連結業績予想と実績値との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,071	139	112	92	5.56
実績値 (B)	3,924	174	146	141	8.78
増減額 (B - A)	△147	34	33	48	—
増減率 (%)	△3.6	24.7	30.0	52.4	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	3,547	43	28	27	1.64

(2) 2022年3月期通期個別業績予想と実績値との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	452	109	92	5.55
実績値 (B)	449	130	113	7.05
増減額 (B - A)	△3	21	20	—
増減率 (%)	△0.8	20.1	22.5	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	354	110	121	7.27

(3) 差異の理由

2023年3月期より連結納税制度から単体納税制度へ移行することに伴い、連結納税主体と連結納税会社の企業分類の違いによる繰延税金資産の取崩が不要となったことから、税金費用が19百万円減少しました。これにより、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を上回りました。

2. 剰余金の配当

(1) 内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年5月13日公表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2022年3月31日	同左	2021年3月31日
1株当たり配当金	3円00銭	2円00銭	2円00銭
配当金総額	47百万円	—	32百万円
効力発生日	2022年6月30日	—	2021年6月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けており、そのためには中長期的な視野に基づいた企業価値の増大が欠かせないものと考えております。配当の決定にあたり、安定した配当を継続的に行うことができるよう、将来の事業拡大に必要な内部留保を考慮した上で、業績動向や財務状況等を総合的に勘案し判断しております。

2022年3月期の配当につきましては、当期の業績を勘案し、今後も継続的な成長が見込まれることから、上記方針のもと、2021年5月13日に公表いたしました期末配当予想より1円増配し、1株当たり普通配当3円といたします。

以 上